

県産材の利用促進に関する施策の実施状況について（令和元年度）

1 住宅、民間建築物、公共建築物、公共土木施設における県産材の利用拡大

○公共建築物や公共土木事業での県産材利用実績

	木材使用量	県産材使用量	県産材使用率
県営建築工事	511m ³	181m ³	36%
県営土木工事	580m ³	552m ³	95%

○公共建築物のうち、木材利用方針で原則木造と規定している低層の建築物の木造割合 100%

○上記の建築物における県産材使用割合 83%

○県産材を使用した住宅等への助成（いしかわの森で作る住宅推進事業）の実績

区分	5m ³ ～7m ³ 8万円/戸	7m ³ ～20m ³ 10万円/戸	20m ³ ～ 30万円/戸	25m ³ 以上かつ90%以上 50万円/戸	合計
交付件数	27	132	30	26	215

○県産材利用のモデルとなる民間施設への助成（民間施設県産材需要創出モデル推進事業）の実績

交付件数	レストラン、工房兼ギャラリー 営業所併設の市民交流スペース
3	

○県産材利用で他の模範となる住宅、施設、製品を表彰（いしかわの木づかい表彰）

2 合板、集成材等の木質材料、木質バイオマス等へ県産材有効利用

○柱材等への利用に向かない、曲がりがある木、節の多い木、小径木等（B材、C材）について、合板、集成材、木質バイオマスとしての利用を推進

- ・県、森林組合連合会、コマツの「林業に関する包括連携協定」に基づき、コマツ粟津工場に導入した木質バイオマスボイラーでの県産低質材の利用（H26～）
- ・集成材加工流通施設整備に対し支援

3 県産材の新たな用途の開発及び普及

○林業試験場にて、県産材の新たな用途開発のための試験研究を実施

- ・大径材から得られる梁桁（はりけた）材の乾燥技術や強度性能（H28～）
- ・県産スギ心去り正角材の乾燥技術の確立と性能評価（H30～）

4 県産材の利用促進に必要な人材の育成

○中・大型建築物の木造化を提案できる建築士などの育成

- ・セミナー実施回数5回 参加者数 延べ298名

5 県内外における県産材の需要及び販路の拡大

○県内外のイベントにて県産材の良さをPR

- ・全国規模の展示会（ジャパンホームショー等）にて、県産材を使用した建材等をPR
- ・農林漁業まつりで、県産材の魅力をPR

6 県民等が県産材に親しみ、森林環境等について理解を深められる機会の提供

○木に親しみ、森林への理解を育む木育の実施（森林への理解を育む木育推進事業）

セミナー：4回 参加者：保育士等80名 出前講座：10カ所 参加者：園児等501名

○森林整備や木材加工の現場を見学・体験する実感ツアーの実施

ツアー：8回 参加者：親子、一般、小学生 440名